

方剂名	効能	生薬組成
書籍	主治および証	病機 方意
清熱剤 清臟腑熱剤 13		
がいけつほう 咳血方	清肝寧肺	青黛・山梔子・栝楼仁・訶子・海浮石各等量 細末を蜜丸にし、1回6～9gを嚙んで服用する。
丹溪心法	<p>主治は、木火刑金（肝火犯肺）の咳嗽、痰に血が混じる、粘稠で喀出しにくい痰、いらいら、怒りっぽい、便秘、舌質が紅、舌苔が黄、脈が弦数などの症候。</p> <p>肝火が肺気を上逆させ肺絡を灼傷し肺津を煎熬する病態であり、清肝熱の青黛・山梔子を主とし、清化熱痰の栝楼仁・海浮石と斂肺止咳の訶子を加えている。肝火が原因で肺が損傷を受けているので、肝火を清すれば諸症状は消退するのである。</p>	